

あかるく やさしく たくましく

No. 14

令和7年11月6日

☆海の学習でのサプライズ 海岸で大きな花火！

今回も海の学習の子どもたちの振り返りを載せたいと思います。その前に海の学習で起こったサプライズについて紹介したいと思います。

1日目のカッター研修の後、子どもたちは元気に海岸で砂の芸術をしていましたが、校長は児童の水筒などの荷物番をしていました。すると、普段は入って来ない海岸の遊歩道に1台のワンボックスカーが入って来たのです。そして荷物のすぐそばに車を停めて大柄な男性二人組が降りてきたのです。何事かなと身構えたのですが、男性は付近をうろうろするだけでした。

その夜、室長会が済んで部屋で寝る準備をしていた時に、突然すぐ目の前の海岸で花火が上がりました。家族ですのような小さな花火ではなく、本物の大きな花火です。心臓に響くくらい大きな音で「ドーン！」と上がったのです。何発も何発もとってもきれいな花火が目の前で上がったのです。校長先生は何度も海の学習に来ていますが、花火が上がったなんて聞いたことはありません。突然の出来事にびっくりしたけどとってもきれいでみんな喜んでいましたね。後でなぜ花火が上がったのか聞いてみたら、宿舎の隣のホテルに他県の高校生が修学旅行で泊まっていて、その高校生を驚かせるためにホテルがサプライズで花火を上げたらしいのです。昼間に見た大柄な男性は花火職人だったんですね。突然だったので写真を撮るのを忘れてしまいました。残念。

<海の学習の振り返りから③>

学校紹介をする〇〇さん

「怖かったけど楽しかった海の学習」 〇〇 〇〇

私が海の学習で一番心に残ったことは大きく3つあります。1つ目はカッター研修です。しんどくても声とタイミングを合わせて頑張ったからです。一番目の研修だったし、そもそも海に行くこと自体もあまりなくて、最初の方は怖くて仕方なかったです。けれど途中から徐々に慣れてきて、漕ぐタイミングを合わせることや声を大きく出すことを意識して進むことができてよかったです。

2つ目は砂の芸術です。みんなで相談して2つの作品を頑張って楽しく作ったからです。グループみんなで「もうちょっとここ砂いるんじゃない？」と相談しながら協力しつつ、楽しみながら作れたのでよかったです。あと〇〇さんが「〇〇と〇〇はメンダコつくって！やっぱり一旦みんなでクジラ作ろう！」と声掛けをしてくれて、それにそって考えながら作ったのでよかったです。

3つ目は時間を意識しながら行動したことです。研修やご飯の後に部屋に戻った時に、しおりの時間と時計を見て「〇分に出れば予定までに着くな」と自分で考えて行動できたからです。それに加えて友達にも「〇分に出ればいいよ」と教えてあげることもできてよかったです。時間がある時はしおりを見たり、荷物の整理をしたりして、先の行動や帰る時のことを考えて、常に素早く行動できてよかったです。

この海の学習の経験から、私は特に「心を一つにすること」が大事だと思いました。「心を一つにすること」とは友情につながることでもあるからです。「心を一つにすること」は、まだこれからある学習発表会や卒業式、普段の学校生活に活かしていきたいです。

海の水は少し冷たいかな

帰る前に食べたカツカレー